

第4次総合計画の総括と 将来ビジョンについて

水川 淳 議員



【問】10年前と比較し計画に影響した状況変化は。

【企画部長】生活様式や社会経済情勢。行政を取巻く環境変化と、世界的不況による財政逼迫など。

【問】人口推計と実績値との差異は。達成に向け積極的な施策を講じていくべきか。

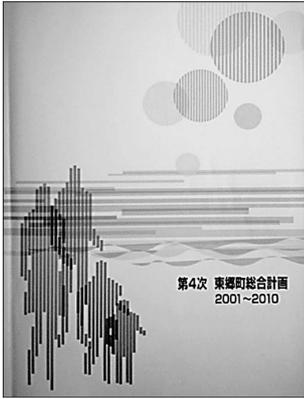
【町長】異動人口を捉えることは難しい。国は地方分権を担い得る都市を推進している。5次で目指す4万5千人は施策なしでの達成は難しい。そうなるような町づくりを進めていきたい。

【問】総合計画の認知度向上策は。

【企画部長】4次は関心が低かった。今回は策定段階から住民に幅広く関わっていただいた。

【問】墓園整備は。

【生活部長】火葬場と合わせ広域的に検討したい。



第四次総合計画書

【問】東部丘陵開発は。

【経済建設部長】社会情勢の変化等もあり、ほぼ進展なし。都市マスタープラン改定と合わせ5次に計上していく。

【問】東郷らしさの一つであるポート振興策は。

【教育部長】初級のナツクル艇と合わせてシエル艇の指導も始めたい。

【問】週5日制が導入された10年だが、今後ゆとり教育からの転換が進められる。生涯学習等地域活動への影響や今後のビジョンは。

【教育部長】学校教育の中で進められてきたスポーツ・文化活動は、生涯学習として地域で担う方向となる。

介護をめぐる悲劇を防ぐために 高齢者の見守り拡充を

山下 律子 議員



【問】65歳以上の独居と高齢者世帯の数は。

【福祉部長】独居世帯は984世帯。高齢者のみの世帯は1千263世帯。

【問】現在、町が把握しているのは4分の1程度。支援が必要な高齢者を見つける仕組みが必要では。

【福祉部長】民生委員等の協力を得ながら実態把握に努めていきたい。

【問】認知症で行方不明になった場合に迅速に見つけるため、SOSネットワーク整備の意向は。

【福祉部長】携帯電話などメールを活用したSOSネットの構築や認知症サポーターの協力による見守り支援を検討する。

猫の室内飼育啓発を

【問】道路で車にはねられた動物の処理に年間80万円ほどかかっているが、件数と内訳は。

【生活部長】昨年は犬4匹、猫135匹、その他31匹で、合計170匹。



ノーマカフェ

【問】猫が年間140匹近く車にひかれて死んでいる。国は猫の室内飼育を推奨しており、東郷町ももっと啓発すべきでは。

【生活部長】猫の室内飼育は周知が不足していたので、広報に努めたい。

障がい者にも仕事を

【問】雇用を促進するため障がい者の法定雇用率を入札の条件に入れては。

【総務部長】研究する。
【問】役場での障がい者雇用は身体障がいに限らず、あらゆる障がいに門戸を開くべきでは。
【企画部長】先進地事例をふまえて研究したい。